

活動情報 No. 7



問い合わせ TEL 0942-47-5101

FAX 0942-47-5105

ホームページ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4705101/>

地域振興課 水田農業係

大豆の収量向上を目指して

JAくるめ管内で大豆栽培講習会を開催

久留米普及指導センターは、6月11日にJAくるめ西部支店にて、「大豆栽培講習会」を開催し、栽培管理や播種方法について講習を行いました。同地区でも大豆の収量は年々減少傾向にあるため、収量の向上を目指し、生産者30名が出席しました。

今回は、①令和2年産の作況、②大豆生産におけるポイント、③部分浅耕一工程播種の3つの構成で講習会を行いました。大豆の収量を確保するためには、適期に播種し、速やかに芽を出させることが重要です。そのため、播種技術の一つである「部分浅耕一工程播種」に重点を置いて講習を行いました。また、大豆は根粒菌といわれる土壌微生物から窒素を供給してもらうため、根粒菌の活性が重要となります。そのために、根粒菌が働きやすい環境づくりについても詳しく説明しました。参加者からは、「どれくらい大雨にあたると出芽は悪くなるのか」という質問や「今年、部分浅耕一工程播種をやってみよう」などの声があり、収量向上への意欲の高さがうかがえました。

7月に入ると大豆の播種が始まります。久留米普及指導センターは、JAと連携し、情報提供や現地指導を行い、高収量を確保できるよう活動を行っていきます。



講習会の様子

根粒菌が働きやすい環境づくり

大豆の窒素源は、**根粒菌の働き**により7割以上が空中から固定される

※その他の窒素源は、地力窒素、施肥窒素

根粒菌の働きが低下する要因

- ① 土壌の乾燥
- ② 土壌の通気不足
- ③ 酸性条件

根粒菌

大豆の安定多収化を図るには、**根粒菌による窒素固定能力を最大限に発揮させることが大切**

講習会資料の一部